事例No.	2047
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	滋賀県

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・ICT

事例種類	子育て

事例内容・タイトル

子育てや学校など様々な悩み事に対応するSNSによる相談

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

67 子育てや学校など様々な悩み事に対応するSNSによる相談【滋賀県】

事業の概要

○ 滋賀県では、令和２年度にこどもと保護者を対象としたSNSによる実証事業を実施し、小中高校生に対する相談ツールの一つとしてSNSが活用できることを確認した。

○ コロナ禍の不安にも対応するため、令和３年５月からSNSを活用した相談「こころのサポートしが」を開始した。



○ 対象をこどもと保護者から県民および県内に通勤・通学している者全てに広げ、令和４年度末まで毎日16時～22時の間、相談が可能となっている。
相談内容には「子育てのこと、学校のこと、こころやいのちに関すること」に加え、「若年女性が抱える悩みのこと」も追加している。

○ SNSを活用し、こころの問題が深刻化する前の早期支援につなげる狙いがある。

【参考情報①】 人口：141.9万人
関連URL：
https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/syougaifukushi/318572.html （県HP）

【参考情報②】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



令和２年度にこどもと保護者を対象としたSNSによる「こどもと親の悩み相談」実証事業を実施し、小中高校生に対する相談ツールの一つとしてSNSが活用できることを確認し、事業化に繋げました。（滋賀県）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



実証事業は県費で実施し、令和３年度には厚生労働省の児童虐待・DV対策等補助金および新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金、また、内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しました。



事業の近況を教えてください。



事業開始の令和３年度５月10日から令和４年３月末までに、2,110人の友だち登録があり、2,895件の相談がありました。

★担当：滋賀県教育委員会 幼小中教育課、
滋賀県健康医療福祉部 障害福祉課、
滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局、
滋賀県立男女共同参画センター ★

令和3年度事業費 16,759千円
（うち、新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金（厚生労働省）6,284千円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）2,095千円、児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金（厚生労働省）4,189千円）